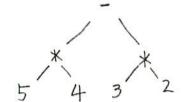
平成19年度 院試解答例

1. 青木 2. 長谷川 3. 伊藤 8. 伊藤 9. 長谷川 10. 青木

P T

(1) 。二分木は

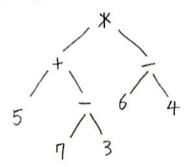


。演算結果は

$$(5*4) - (3*2) = 14$$

(2)

(2-1)



(2-2)

てのまま

(3) ある丁原点において、その頂点が整数(葉)であれば出力。 演算子であれば、左部分木の内容をすべて出力し、その後 右部分木の内容をすべて出力した後にその頂点、を出力 すればよい。

(4)

(4-1) (7) push (token-> number)

(1) push (b+a) ((a+b)でも可)

(13) push (b-a)

(I) push (b*a) ((a*b) 2" toT)

(t) push (b/a)

HI POP()

(4-2) [] \rightarrow [4] \rightarrow [456] \rightarrow [56] \rightarrow [6] \rightarrow [206] \rightarrow [6] \rightarrow [7]

[3-)[4]-)[54]->[654]->[54]->[4]->[304]

- [4] - [] - [34] - []

2 論理回路

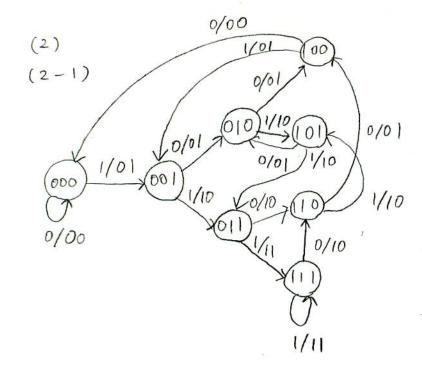
11

13

$$(1-3)$$

$$= \overline{(a_2 a_0) \cdot (\overline{a_2} a_1)}$$

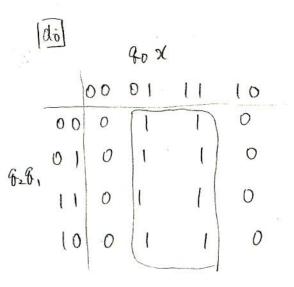
1,7

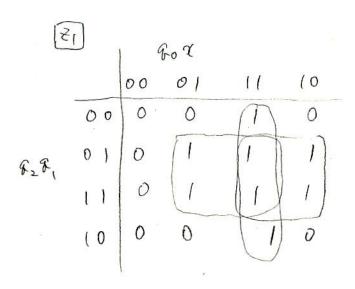


	次状態	É	些 カ	
(2-2)	Ø = 0	Z= 1	2=0	x = 1
F. 8, 80	8248,7804	82 87 80	8120	2,20
000	000	001	00	0 1
0 0 1	010	011	01	10
010	100	101	0 (10
0 (1	110	111	10	11
100	000	001	00	01
101	010	011	0	10
110	100	101	0)	10
111	110	111	10	11

[d]		9	Fo 2			
		00	01	1 1	10	
	00	0	0	1	1)	
F281	0 1	0	0	1	1	
	()	0	0		1	
	10	0	0	1	1)	
		1				

. 6



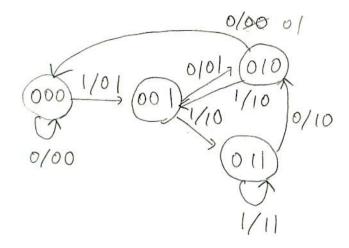


(2-4)

(2-2)の状態遷移表で、次状態、出力の組が同じ状態を削降すると、次の状態遷移表が得られる

828, 80	x=0 82 81 804	1 = 1 82 1 81 801	d=0 €170	2(Z b
0 0 0	000	0 0 1	0 0	0 1
0 0 1	0 1 0	0 1 1	0 1	10
0 10	000	001	0 /	10
0 11	0 10	011	10	11

これまり、以下の状態遷移図を得る



(J) (J-V)

(a). 1 (b). 4 (1) 6 (d) 0 (e) 6

(1-2)

(1-2-1)

2-11-2+2+1 = 8 ns

(1-2-2)

名ファージを気の理する時間を一定にで3元ないといけないので、 全ステージ、2msの遅延時間がある。

2 x 5 = 10 ms

(1サードを考えない場合、名ステージをしつおうずらして処理すると、同時にち命命を処理する事ができる。

Jor. 1 ft DT=1). 15/(10ns/5) = 16/2nc = 0.5 x 109

(1-3)

(1-3-1)

2行目のらいら命令では、「行目ののはあるの総果を利用するか、その結果はWBステージョでしジスタに書き込まれてはいるのため、2行目のSUb命合はしジスタを読み出すエDステージの室行と、add あるのWBステージ終ろすで、待たけけんはするらず、いザードが発生しる

(1-3-2)

ハサードを削減するため、命命の順序を、次のように変える

add R1, R2, R3

add R6, R7. R8

SUB R4, RI, R5

この時によっかインの知理過程にかってからになる

add RI, RZ, R3 IF ID EX MEM WB 12 14 16 18

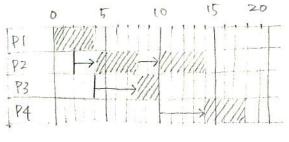
add R6.P7.P8 IF ID EX MEM WB

SUB RA, RI, R5 IF - - IP EX MEM WB

处理に要する時間にはns 1=723.

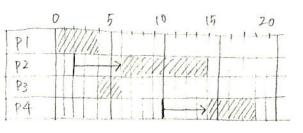






77519-27552 = 30/4 = 7.5

SPT市电

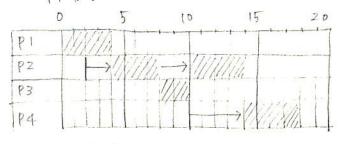


キュラーンアラウンドライムしょ。 (4+12+2+8)/4=26/4 > 6.5

(2-3)

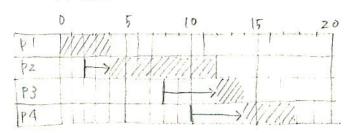
プロセス	虾時間	問起胜攻
PI	0	4
P2	2	8
P3	5	۷
P4	10	4

PR 方式



7499-27592+597417 (4+12+2+8)/4=26/4=6.5

SPT方式



子均ターンアラガッドライムは(4+10+6+8)/4=28/4=7

11) - IF : ANBACA-D

各節は、P(えいf(y,ス)) v ーヤ(スッタ) ー・① P(タ(ス), y) v ー P(ス・タ) ー・② P(ス・b) ー・③ ー P(タ(チ(an)), f(b, タ(an)) ー・④

すって「日口充足不能である。

```
(2) ..
  (2-1)
   U= Yx (-1( R(x) n P(xx)) n - ( P(xx) n T(xx)) n - ( T(xx) n R(xx) ))
   (2-2)
    A= 3a 3 y 3 2 bw [( R(w) v P(w) v T(w)) N R(a) N P(y) N [(3)]
   (2-3)
    C= by by ba (( n + y n ) + 7 n 2 + 1) - ( r(x) v r(4) v r(2) ))
   (2-4)
      B = {}^{4}\pi^{4}y^{4}Z \left( \left( \mathcal{R} \pm \mathcal{Y}_{\Lambda} \mathcal{Y} \pm \mathcal{Z}_{\Lambda} \mathcal{Z} \pm \mathcal{X} \right) \rightarrow \left( P(\mathcal{X}) \vee P(\mathcal{Y}) \vee P(\mathcal{Z}) \right) \right)
       1).

Qi: P(x) E真10对3值集后)

bi: P(d) 《 解和 Ip 1= がいて
   (2-4-1)
       V: Qi, bi, Cin和集后
      VI= faigulbigu Vienfcig, Ip = a'112. DA AACE 323
       a, b, Vienflitは、それぞれROO、Pa), 下(x)のみを真にある値ではので、Dは砂立
      同様にAにおいて 生の1,4=b1,2=C1をするとAもか立.
      Cにフいて、スキタグリキマグマキスをなるViの要素の強が方は
      Vitis (ai, bi, Ci), (ai, Ci, Ci), (bi, Ci, Ci), (Ci, Ci, Ci, Ch) quatro:
      このしずれしついても中はりしアしなりしアはりは成立する
    以より、し、みへくは真である
 (2-4-2)
     V= { ai} u Vientbis uf Ci}
 (2-4-3)
     Va= ja, b, C, ?
                                                  Eを「7の店から、用fI3なき3本
(2-5)
   D→ ANBNC:の言願理型式をFとすると.
                                                   といっように発んしまましておりと
                                                      少けるなも「本は合まれる」とおろ
  F: -DU (ANBAC)
                                            FE D-(ANBAC-) Ed3 &
  TF. DAGAV-BUTC)
                                            F= DNANBAC -> E
                                          (2-4-3) LI DAAABAC 的"真ox主击: 紫養の花が"
                                           1本かったりは中は12113のとり、このときをも真
                                                            · · F17真
```

(1)

(I-1) A: 11で終わる語の集合なので

11, 011, 111, 0011, 0111, 1011, 1111

B;00を含む語の集合なので

00, 000, 100, 001, 0011, 1001, 1100, 0000, 1000, 0100,0010,0001/

(1-2) U(M):Mが受理しない語の集合を受理するオートマトン T(M1,M2): M1とM2のオートマトンにともに受理される語の 集合を受理するオートマトン、

よって答えは

C1:6

C2:7

C3:10

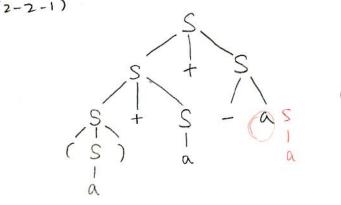
C4: 4

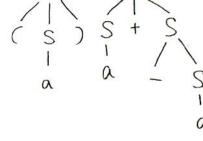
C5:3

(2)(2-1) G1によって生成される文: 2,3,5,6 G2によって生成される丈:1,2,4,6

(2-2)

(2-2-1)





3 S

個情報理論

(1)
$$(7)$$
 $-\frac{1}{2}\log_2 \frac{1}{2} - \frac{1}{2}\log_2 \frac{1}{2} = -\log_2 \frac{1}{2} = -(\log_2 1 - \log_2 2) = 1$
(1) $-\frac{1}{2}\log_2 \frac{1}{2} - (\frac{1}{8}\log_2 \frac{1}{8}) \times 3 - (\frac{1}{16}\log_2 \frac{1}{16}) \times 2$
 $= \frac{1}{2} + \frac{3}{8}\log_2 \frac{1}{8} + \frac{1}{8}\log_2 \frac{1}{8} + \frac{1}{8}\log_2 \frac{1}{8}$
 $= \frac{1}{2} + \frac{9}{8} + \frac{4}{8} = \frac{17}{8}$

- (94)1001
- #f=17 (93) (10 (94) (00)

(3)

(3-1)

- (2)のハフマン符号化却,符号語の先頭の記号はり、1がうで発生的 おて Vi= 0 となる電率は 1/2
- (3-2) 符号語の気頭の記号は、以前の符号語に関係をなくり、トからで発生程 ので しょは リーー レュー とか生を
- (3-3) 符号語の3文字目が日かは 110,1000,1001.これらの生起確率は 京、古、一位、 符号語の3文字目が 1750は 111,101、これらの生起確率は 4, 4

これまり DA生配館率は まくしん ナート = 十年 10 年 10 年 10 年 10 年 10 年 10 日本 1

あて Ui -- Ui-1 でどのおかな符号語が発生しても、Ui が符号語の3文字目で る3とも、Ui は O, 1 を 一定確率でとるので Ui -- Ui-1 と Ui は独立である

件)平均符号表

(3) は自信無し)